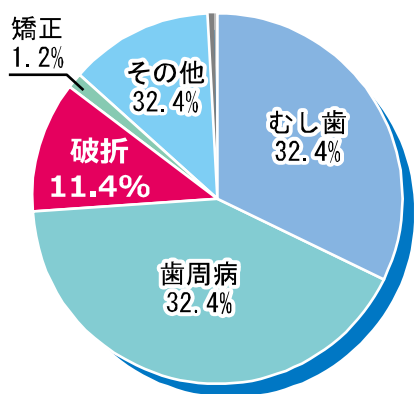




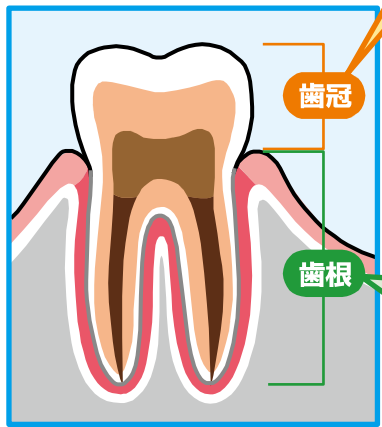
歯のなし 歯を失ってしまう原因の第3位は「歯の破折」



皆さんは『日本人が歯を失ってしまう原因のベスト3』をご存じでしょうか？ 第1位は「歯周病」、2位は「むし歯」、そして3位が「歯の破折」です。骨が折れることを「骨折」と言いますが、歯の場合は「破折」と呼びます。

2種類ある破折

外部からの力によって歯が割れたり折れたりする破折には、主に「**歯冠破折**」「**歯根破折**」の2種類があります。



歯冠破折とは？
歯ぐきから上に露出している部分が破折することです。亀裂の程度によって治療は変わりますが、多くの場合、差し歯や銀歯などの被せものによって歯を残す治療を行います。

歯根破折とは？
歯ぐきから下の根の部分にヒビが入ったり、割れたりすることです。歯冠破折とは異なり、わずかにヒビが入った場合でも、基本的な治療は抜歯になってしまいます。

破折の原因は？

- 事故やスポーツ時の歯のくいしばり
- 睡眠時の歯ぎしり
- 硬いものを好む (豆やドライフルーツなど)
- あめ飴や氷をかみ砕く

破折は主に「転倒」や「格闘技・激しいスポーツをしている時」に起きるものです。また、「硬いものを食べた時」や「歯ぎしりのクセ」が原因という場合もあります。

対策

突発的な事故による破折は防ぎようがありません。しかし、次のような方法で破折を予防することができます。

- 格闘技や激しいスポーツをしている方、歯ぎしりのクセがある方は、専用のマウスピースを着用しましょう。
- 硬いものを食べたり、噛み砕く習慣のある場合はやめましょう。また、ビンのフタを歯でこじ開けることもとても危険です。
- 歯根破折の多くは、治療で神経を抜いてしまった歯で起こります。神経を取ってしまった歯は非常にもろい状態になってしまいます。この対策としては、できるだけ歯の神経を抜く治療を行わないこと。そのためには、むし歯の早期発見、早期治療に努めましょう。



歯の破折をそのまま放置してしまうと、割れやヒビから細菌が侵入し重症化する場合があります。もし気になる症状がある場合は、早めに診察を受けましょう。

クイズのこたえ ③ **お寺の尼さん** 日本最古の入れ歯を使っていたのは、今から476年前(1538年)に74歳で亡くなった、和歌山県のお寺の尼さんだったようです。入れ歯の奥歯がすり減っていたことから、実際に使用されていたものと推測されています。この時代に入れ歯を製作していたのは、仏像などを彫る仏師が行っていたようです。